

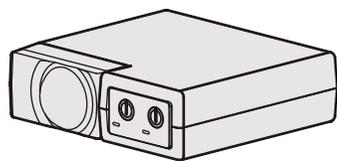
取扱説明書



赤外線コードレスレシーバー

AT-CR701 AT-CR771

ご購入ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。



- 高性能かつコンパクトボディ
- マイクロホンを最大4本使えるチャンネルを用意*
*AT-CR701とAT-CR771を同時に使用した場合
- 取り外し可能な受光ユニットと、外部取り付け受光ユニット(別売)により安定した受信を実現
- 高性能受光素子を採用し、受光ユニットの設置数低減と小型化を実現

*本製品は当社赤外線コードレスマイクロホン(別売)、当社受光ユニット(別売)と組み合わせて使用する必要があります。
対応製品については当社のホームページをご覧ください。

内容物を確認する

本製品をご使用になる前に、下記内容物がすべてそろっていることを確認してください。万一、内容物に不足や損傷がある場合は、ご購入の販売店または当社窓口までご連絡ください。

- 赤外線コードレスレシーバー ×1
※受光ユニット取り付け済み
- ACアダプター ×1
- 木ネジ ×2
- マジックテープ ×1組
- 接続ケーブル(3.0m)
 - ・RCAピンプラグ ⇄ φ6.3mmモノラル標準プラグ(L型) ×1
 - ・RCAピンプラグ ⇄ RCAピンプラグ ×1
- 受光ユニット用ケーブル(10m) ×1
- 取扱説明書(本書)
- 保証書

安全上の注意

本製品は安全性に十分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本体について

警告

- 付属のACアダプター以外使用しない
故障、不具合の原因になります。
- 本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体など)を入れない
感電、故障や火災の原因になります。
- 同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない
事故や火災の原因になります。
- 異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気づいたら使用しない
異常に気づいたら、ご購入の販売店が当社窓口へ修理を依頼してください。
- 分解や改造はしない
感電、故障や火災の原因になります。
- 強い衝撃を与えない
感電、故障や火災の原因になります。
- 濡れた手で触れない
感電やけがの原因になります。
- 水をかけない
感電、故障や火災の原因になります。
- 布などで覆わない
過熱による火災やけがの原因になります。

注意

- 不安定な場所に設置しない
転倒などによりけがや故障の原因になります。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない
故障、不具合の原因になります。
- 火気に近づけない
変形、故障の原因になります。
- ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない
変形、故障の原因になります。
- 密閉された狭い場所や熱がこもる場所には置かない
変形、故障の原因になります。

ACアダプターについて

警告

- AC100V以外の電源には使用しない(日本国内専用)
過熱による火災など事故の原因になります。
- 本製品以外には使用しない
過熱による火災など事故の原因になります。
- 異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気付いたら使用しない
異常に気付いたらすぐに使用を中止して、コンセントから抜きお買い上げの販売店が当社窓口へご連絡してください。そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。
- コードは伸ばして使用する。釘などでの固定や、束ねたままでの使用はしない
過熱による火災など事故の原因になります。
- コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込む
過熱による火災など事故の原因になります。
- コードを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする
断線、故障の原因になります。
- コードの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れたりしない
断線、故障の原因になります。
- 分解や改造はしない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 強い衝撃を与えない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 濡れた手で触れない
感電によるけがの恐れがあります。
- 布などで覆わない
過熱による火災など事故の原因になります。
- プラグにたまったほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取る
過熱による火災など事故の原因になります。
- ベンジン、シンナー、接点復活剤など薬品は使用しない
変形、故障の原因になります。

注意

- 長時間使用しないときは、コンセントから抜く
省エネルギーにご配慮ください。
- 足に引っ掛かりやすい場所にコードを引き回さない
故障や事故の原因になります。
- 通電中のACアダプターに長時間触れないから抜く
低温やけどの原因になることがあります。

使用上の注意

- ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 天井に受光ユニットを設置する際は、窓または壁から約2～3m離して設置してください。
- 壁に受光ユニットを設置する際は、直射日光、スポットライト、白熱電灯などの光が受光ユニットに入らないように設置してください。
- マイクロホンは、本製品から1m以上離して使用してください。
誤動作や雑音が発生する恐れがあります。
- 下記の近くには設置しないでください。システムの動作不良やノイズ発生の原因となる場合があります。その場合は、正常に動作する場所まで離して設置してください。

- ・照明装置
- ・プロジェクター(液晶やDLPなど)、OHP、白熱電球など
- ・水銀灯、ハロゲン灯、インバータ式蛍光灯、ブラックライト
- ・プラズマディスプレイ
- ・リモコン、赤外線LANなどの赤外線機器
- ・調光器
- ・デジタルパワーアンプなどのデジタル機器本体およびその配線(スピーカー出力など)

- ケーブルの配線上に大型電気機器があると、ノイズが発生する可能性があります。その場合は、ノイズが発生しなくなるまで離して配線してください。
- ケーブルの配線時に、ケーブルを切断して再接続や継ぎ足し接続は行わないでください。ノイズが発生する場合があります。

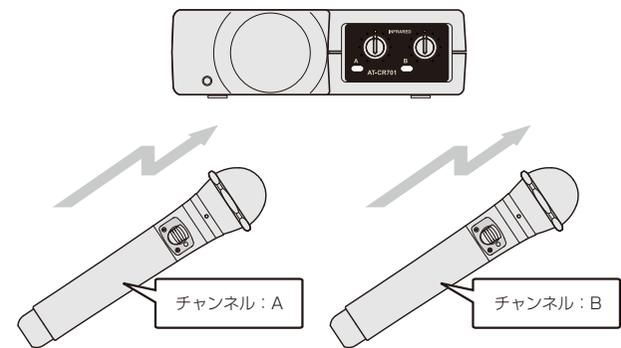
コードレスシステムについて

※当社赤外線コードレスマイクロホン(別売)の取扱説明書も併せてお読みください。
※本製品は赤外線コードレスマイクロホン2本の同時使用が可能です。

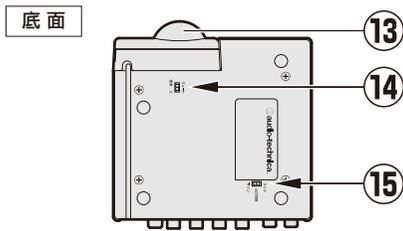
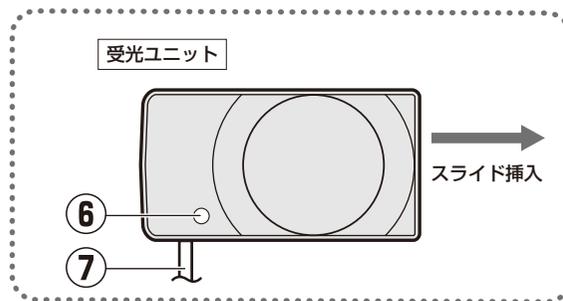
- マイクロホンを2本同時に使用する際は、本製品のチャンネルAとBの周波数に対応したマイクロホンを使用してください。
- AT-CR701とAT-CR771を同時に使用することで、マイクロホン4本の同時使用が可能です。

*同じチャンネル(周波数)のコードレスシステムを2台同時には使用できません。
*本製品とマイクロホンは1m以上離してご使用ください。
誤動作や雑音が発生する恐れがあります。
*周辺にテレビやデジタル機器がある場合は離してご使用ください。
電波の干渉やノイズの影響を受けることがあります。

■使用例



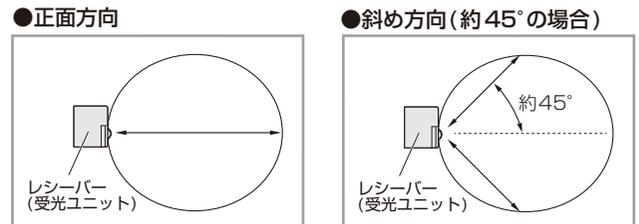
各部の名称



- ①電源インジケーター(赤)
- ②Aチャンネルボリューム
- ③Bチャンネルボリューム
- ④Aチャンネルマイクインジケーター(黄)
- ⑤Bチャンネルマイクインジケーター(緑)
- ⑥受光ユニット電源インジケーター
*AT-CR701：赤
*AT-CR771：緑
- ⑦受光ユニットのケーブル(30cm)

受信範囲

※受信範囲は、製品の組み合わせや設定、室内の状況などにより変わります。
※下記は以下の製品を組み合わせた例です。
・レシーバー：AT-CR701
・受光ユニット：AT724RXMK2
・マイクロホン：AT-CLM7000TX

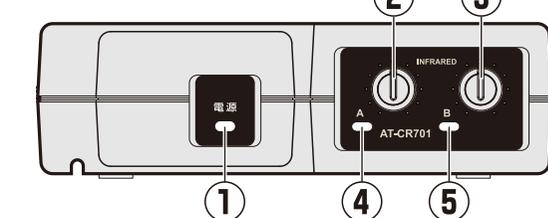


		ノイズミュート切換スイッチ	
		標準	入
出力切換スイッチ	HI	約16m	約9m
	LO	約12m	約7m
	ECO	約10m	約5m

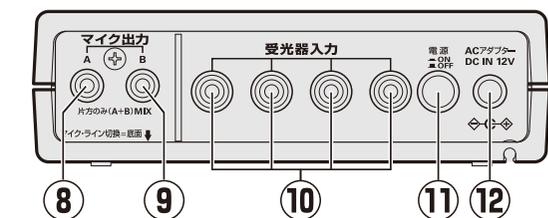
		ノイズミュート切換スイッチ	
		標準	入
出力切換スイッチ	HI	約11m	約6m
	LO	約8m	約5m
	ECO	約7m	約3m

*マイクロホンの出力切換スイッチ(HI/LO/ECO)とレシーバーのノイズミュート切換スイッチ(標準/入)を切り換えると受信範囲が変わります。
*受光ユニットは正面に最大感度を持っているため、天井よりも壁に設置するほうがより効果的です。
*直射日光、スポットライト、白熱電灯などの光が受光ユニットに入ると、大幅に受信範囲が小さくなります。

正面



裏面

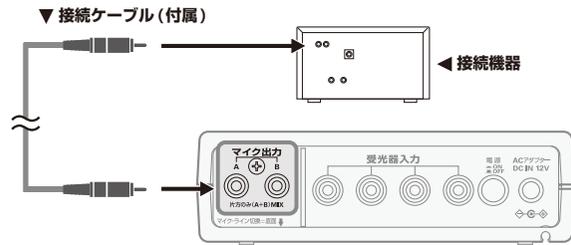


- ⑧Aチャンネル・マイク出力ジャック(RCAピン)
- ⑨Bチャンネル・マイク出力ジャック(RCAピン)
- ⑩受光器入力
- ⑪電源スイッチ
- ⑫外部電源入力ジャック(DC IN 12V)
- ⑬受光部
- ⑭ノイズミュート切換スイッチ
- ⑮出力切換スイッチ

接続のしかた

※接続する機器の取扱説明書も併せてお読みください。

- ①付属の AC アダプターを本製品の外部電源入力ジャック (DC IN 12V) と接続し、AC100V コンセントと接続します。
- ②付属の接続ケーブル (3.0m) を、本体のマイク出力ジャックと接続機器の入力端子に接続します。



●接続機器のマイク入力に接続する場合

付属の RCA ピンプラグ ⇄ φ6.3mm モノラル標準プラグ (L 型) の接続ケーブル (3.0m) を使用してください。RCA ピンプラグを本製品のマイク出力ジャックのどちらかに接続してください。また、φ6.3mm モノラル標準プラグ (L 型) を接続機器のマイク入力に接続してください。

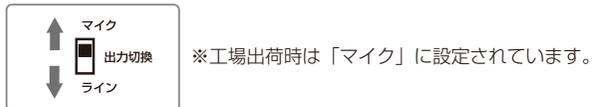
●接続機器のライン入力に接続する場合

付属の RCA ピンプラグ ⇄ RCA ピンプラグの接続ケーブル (3.0m) を使用してください。一方を本製品のマイク出力ジャックのどちらかに、もう一方を接続機器のライン入力に接続してください。

※A/B チャンネル・マイク出力ジャックの一方だけにケーブルを接続すると、A チャンネルと B チャンネルのミックス出力となります。ミックス出力にしない場合は、両方のマイク出力ジャックにケーブルを接続してください。

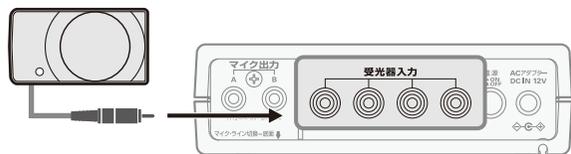
③本製品の出力切換スイッチを切り換えます。

※接続機器のマイク入力に接続した場合はマイク側、ライン入力に接続した場合はライン側にしてください。



④本製品の受光器入力へ受光ユニットから出ているケーブルを接続します。その際、ケーブルは本体底面の溝に入れて固定してください。

※受光ユニット脱着の際は、本体底面の溝からケーブルを抜き、挟まないように行ってください。断線の原因になることがあります。



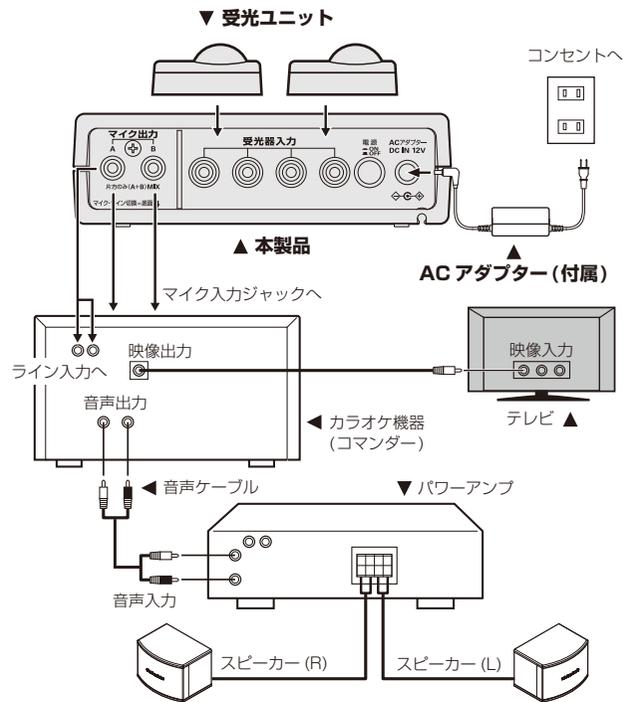
- ⑤レシーバーをラックの上などに置きます。固定する場合は付属のマジックテープを使用してください。

⚠注意

- マイク出力と受光器入力の付け違いには充分注意してください。逆に接続すると火災や故障の原因になります。(マイク出力は「白」、受光器入力は「黒」で区別されています。)

接続例

- *本製品に受光ユニットは 1 台付属しています。
- *受光ユニットは最大 4 台まで増設することが可能です。



使いかた

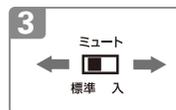
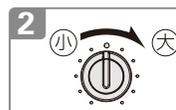
- ①本製品の電源スイッチを押し ON にします。本製品の電源インジケータと受光ユニット電源インジケータが点灯します。

*マイク信号を受信すると、対応するチャンネルマイクインジケータが点灯します。

- ②本製品のチャンネルボリュームで音量を調整します。

③使用時に音の途切れノイズが気になる場合は、ノイズミュート切換スイッチを「入」にしてください。受信範囲は狭くなりますが、ノイズは少なくなります。

※工場出荷時は「標準」に設定されています。



受光ユニットの設置のしかた

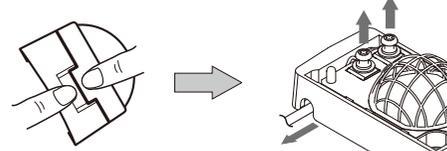
受光ユニットのケーブルは付属の受光ユニットケーブル (10m) に変更し、天井や壁に設置することが可能です。

※プラスドライバーと付属の木ネジ、付属の受光ユニットケーブル (10m) を用意してください。

※必ずケーブルのプラグをレシーバーから抜いた状態で行ってください。ケーブルを抜かないまま作業を行うとショートし、火災や故障の原因になります。

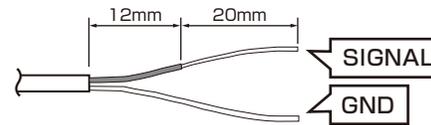
※受光ユニットは、障害物がなく見通しの良い場所で、マイクロホンから直視可能な場所に設置します。

- ①カバーを開け、ケーブルを固定しているネジを 2 本とも緩め、ケーブルを外します。

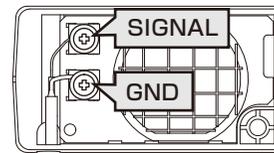


※ネジが抜けないようにご注意ください。

- ②付属のケーブルの長さを変更する場合は、適切な長さにケーブルを切り、先端の被覆を下図の長さを目安に剥がします。



- ③ケーブルを下図のように配線し、極性通りに端子に取り付けます。

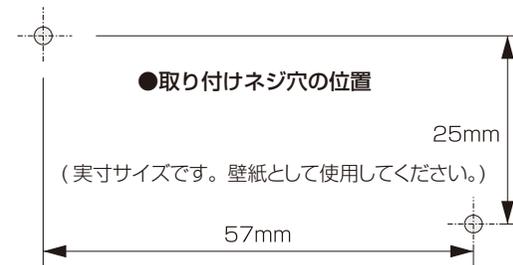


※極性を良く確認して取り付けてください。

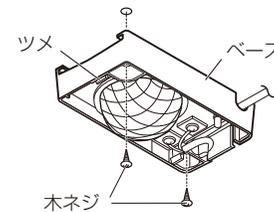
「GND」側 : シールド (太い導線)
「SIGNAL」側 : 芯線 (導体が細く黄色い被覆)

※ケーブル同士が接触していたり、端子以外の部分に接触するとショートし、故障の原因になります。

- ④受光ユニットの取り付け位置を決め、ネジ穴の箇所を鉛筆などで目印を付けます。



- ⑤木ネジをベースに通して天井や壁などに取り付けます。



- ⑥カバーをしっかりとめ、隙間や段差がないかを確認し、受光ユニットのケーブルをレシーバーの受光器入力に接続します。

⚠注意

- 本製品のケーブルを壁などに固定する場合、強い力で固定すると断線する恐れがあります。
- 取り付け場所の強度を確認してください。強度不足、取り付けの不備による落下などの事故については、当社は一切責任を負いません。

ケーブルの配線について

壁内や天井内にケーブルを配線する場合、ケーブルを切断して再接続や継ぎ足し接続は行わないでください。ノイズ発生の原因となります。

切断後、再接続や継ぎ足し接続



故障かな?と思ったら

以下の項目を参考にしてください。それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店または当社窓口までお問い合わせください。

Q. 電源が入らない
A1: AC アダプターが外れていませんか?
Q. 音が出ない
A1: 出力切換スイッチは正しい出力に設定されていますか?
A2: 接続した機器の音量を絞っていませんか?
A3: 受光器入力とマイク出力の配線は間違っていないですか?
Q. 受信しない、音にノイズが乗る、音が途切れる
A1: 本製品またはレシーバーとマイクロホンの間に障害物はありませんか?
A2: マイクロホンと本製品との距離が離れすぎていませんか?
A3: ノイズ源となるものの近くに設置していませんか? 詳しくは「使用上の注意」をご確認ください。
A4: ケーブル配線時に、ケーブルのプラグ付近で切断後、再接続や継ぎ足し接続をしていませんか? 詳しくは「受光ユニットの設置のしかた」をご確認ください。

テクニカルデータ

チャンネル数	: 2 チャンネル
受信周波数	: A チャンネル: 2.06MHz, B チャンネル: 2.56MHz(AT-CR701 使用時) A チャンネル: 3.2MHz, B チャンネル: 3.7MHz(AT-CR771 使用時)
出力レベル	: マイク -45dBV (VOL MAX 時) ライン -30dBV (VOL MAX 時)
電源	: DC12V, 500mA (付属の AC アダプターを使用、日本国内専用)
外形寸法	: H38 × W130 × D131mm
質量	: 約 344g
●付属品	: AC アダプター (AD-LL1205AR) : 木ネジ ×2 : マジックテープ : 接続ケーブル (3.0m) : RCA ピンプラグ ⇄ φ6.3mm モノラル標準プラグ (L 型) : RCA ピンプラグ ⇄ RCA ピンプラグ : 受光ユニット用ケーブル (10m) : 保証書

(改良などのため予告なく変更することがあります。)

※修理品の送付について

修理・検査の場合、お買い上げの販売店または当社窓口へお送りください。なお、送料はお客様ご負担とさせていただきます。製品は輸送中の事故がないように、元通りに梱包してお送りください。

製品保証および修理などにつきましては、お買い上げの販売店または下記窓口までお問い合わせください。

株式会社 オーディオテクニカ		
【東京】	〒113-8525 東京都文京区湯島 1-8-3 テクニカハウス	☎ 03(6801)2030
【名古屋】	〒461-0004 名古屋市中区栄 3-22-8 ニューザックビル 7F	☎ 052(979)4706
【大阪】	〒532-0004 大阪府淀川区西宮原 2-1-3 SORA 新大阪 21 13F	☎ 06(6395)5464
【福岡】	〒812-0013 福岡市博多区博多駅前 3-12-1 アンリナント 95ビル 3F	☎ 092(412)7261
http://www.audio-technica.co.jp/amz		